

運営推進会議報告書

第 3 回

地域密着型通所介護

運動器機能向上型通所サービスとれさぼ

合同会社とれさぼ



2025年 4月 17日

地域密着型通所介護 運動器機能向上型通所サービスとれさぼ

議 事 録

日時 : 令和7年4月17日(木)13:30~14:30

場所 : 運動器機能向上型通所サービスとれさぼ

司会・進行 : 事業所管理者

出席者 : 8名

※会議関係者

事業所(管理者) 1名	事業所職員2名
南足柄市高齢介護課 担当者 2名	南足柄・北足柄・福沢地区地域地域包括支援センター 1名
利用者ご家族2名	

1. 事業所の概要

(1) 運営法人

名称	合同会社とれさぼ
代表者	代表社員 金盛 智也
業務執行権	業務執行社員 金盛 智也
所在地と連絡先	神奈川県南足柄市飯沢336番地4号 電話:090-5996-6627

(2) 事業所の情報

① 名称等

名称	運動器機能向上型通所サービスとれさぼ
事業所番号	南足柄市指定:1494300187
所在地と連絡先	南足柄市狩野494番地川下ビル1階 電話:0465-46-6591 FAX:0465-46-6592
管理者	金盛 智也
通常の実施地域	南足柄市
利用定員	10名

② 営業日、営業時間等

営業日	月曜日~金曜日
休業日	日曜日、祝日、GW、盆、年末年始
営業時間	8時30分~17時00分
サービス提供曜日	午前 (月)~(金) 午後 (火)(水)(金) 令和7年6月~(木)

サービス提供時間	午前	要介護者	9:00~12:00
		要支援者	9:30~11:30
	午後	要支援者	14:00~16:00

③ 従業者について

職	職務内容	人員数
管理者	従業者及び業務の実施状況の把握その他の業務の管理を一元的におこなうとともに、事業所の従業者に対し遵守すべき事項について指揮命令を行います。	常勤 1名
生活相談員 (介護支援専門員1名) (介護福祉士3名) (社会福祉主事任用2名)	利用の申し込みに関わる調整、サービス担当者会議への出席、他の従業者に対する相談助言および技術指導を行い、また他の従業者と協力して計画の作成を行います。	常勤 1名 非常勤 5名
介護職員 (介護福祉士4名) (初任者研修1名) (入門的研修1名) (無資格1名) (健康運動指導士2名)	地域密着型通所介護計画に基づき、必要な日常生活上の生活リハビリ、世話、及び移動・移乗の介助を行います。また利用者の機能訓練の見守り業務を行います。	常勤 1名 非常勤 6名
機能訓練指導員 (柔道整復師1名) (鍼灸マッサージ師1名) (正看護師1名) (准看護師1名)	日常生活を営むのに必要な機能の減退を防止するための訓練指導、助言、自主トレの提案、日常生活動作の提案を行います。	非常勤 4名

(3) 事業所の特徴

⇒半日型の機能訓練に特化したデイサービスです。要介護状態であっても、適切に対処すれば、要支援状態や軽度な状態に戻せる状態の利用者の介護予防に尽力する事業所を目指しています。また医療制度では地域市民の方に入院が必要となる病気の発症があった際に、病院では長くりハビリテーションを受けることができず、早期退院せざるを得ない状況となっています。入院中に介護認定を受けられ、要介護認定になったような方でも適切に機能訓練を行い、介護状態の悪化を防止すれば、要介護状態の悪化を防ぐことはもちろん、「人生の終焉までやりたいことが叶えられ在宅で生活機能を維持させる」ことを使命にサービス提供を行っています。

2. 運営状況について

(1) 要介護度別利用者数(54 ⇒ 56 名)

事業対象者	要支援1	要支援2		
6名	17名	24名(+2名)		
要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
7名	2名	0名	0名	0名

※現在、順番待ちの利用者で要介護2の方が1名(午前)

(2) 令和6年10月～令和7年3月の営業日数及び月別利用者数

		10月	11月	12月	1月	2月	3月
午前	営業日数(日)	21	20	20	21	18	19
	延べ利用者数(人)	185	153	152	142	137	164
	1日平均利用者数	8.81	7.65	7.6	7.47	5.73	8.63
午後	営業日数(日)	9	13	12	12	11	12
	延べ利用者数(人)	67	60	50	57	51	65
	1日平均利用者数	7.44	6.54	6.5	6.58	5.73	4.83

空き状況

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	0	0	0	0	0
午後	-	5	1	-	3

3. サービス提供状況の報告

(1) サービス内容

① 健康チェック

バイタル(血圧、脈拍、体温、動脈血酸素飽和度、疼痛の有無など)を測定します。また場合によっては呼吸数なども測定し、健康状態を把握していきます。また服薬状況や血液検査データを確認し、既往歴や現病歴を把握し、サービス提供中の急変などのリスクマネジメントを行っています。

② 定期的に体力測定や栄養・機能評価

要支援者、要介護者ともに3か月に1回定期的に体力測定を行っています。体力測定の項目は握力、片脚立位、CS-30テスト、TUGテスト、5m歩行速度(通常・速歩)、体重測定を行っています。

また場合によっては低栄養の疑いがある方は、簡易栄養評価を行い、食事摂取状況を確認したり、血液検査データから総蛋白、アルブミンの数値などを確認したりして、必要な支援や援助、助言、CMへの連絡をしております。

③ 個別機能訓練

定期的な体力測定や動作分析から、日常生活動作(以下ADL)や手段的日常生活動作(以下IADL)の課題となる身体機能に対し、個別機能訓練を提供しています。筋力の強化はもちろんですが、バランス機能や協調性の訓練。また病気や後遺症からくる動作のエラー(間違った動き)の修正や運動学習を行っていきます。

疾患・病気の症状の特徴から予後の予測を行い、早期から予防を図っていきます。

④ 生活リハビリ

定期的にADLやIADLの評価を行い、現状の生活状況を確認しています。そ

れをもとに必要な日常生活動作の練習をプログラムに取り入れています。例えば、椅子の立ち上がり動作練習や床からの立ち上がりの練習、跨ぎ動作の練習や方向転換の練習などを行ったりしています。

⑤ 健康体操

嚙下体操や左右の手を使ったマルチタスク運動などを行ったりしています。また、準備運動として肩甲骨や骨盤を動かすような体操を取り入れ、機能訓練を行う前に動きやすい状態にしてから体を動かしていきます。

またさまざまな運動にマルチタスクや脳を使うような要素を取り入れて脳と体を同時に使うような体操を行っています。

⑥ レクリエーション

レクリエーションとして脳機能を活性化し、身体も動かすような種目を取り入れています。

1～10番まで数字が書かれた番号カードを1m四方の枠に置き、順番に足で踏んで少しでも早く10番のカードを踏むようなレクリエーションや風船バレー、ポッチャなどを行っています。

脳機能の低下は転倒リスクを高めます。例えば認知症の方は転倒リスクが1.74倍になると言われています。

⑦ 送迎

利用者の送迎を2台の車両で行っています。要介護者に関してはドア to ドアを基本にしていますが、要支援者や事業対象者は、自立支援の観点から利用者の身体状況に応じて介助量を減らし、近くでの見守り⇒遠くからの見守り⇒見守りなし⇒自分で帰宅 と自立(自律)へ向けてスタッフの関わりを減らすようにすることもあります。

(2) 苦情対応

令和6年度下半期の苦情 全1件

<p>苦情内容①</p>	<p>「今日は送迎がいつもより早かった！」と言われていた。「どのくらい早かったですか？」とお聞きすると「9時頃に来た」と言われていた。 業務日誌により事実確認をするが、3月21日の金曜日から送迎時間に大きな差はなく、その日が大きく早かったわけではないようでした。 以前にも同じ利用者の方から、送迎職員に対する不満を漏らしていたため、送迎職員に対する私的な感情かと考えつつも、次のように対応した。</p>
<p>対応</p>	<p>「早かったんですね。申し訳ありません。私の指示ですが、もし早く朝の準備が間に合わないなどがありましたら、いつでも送迎の順番を変更して、もう少し遅い時間に伺いますので、気兼ねなくおっしゃってください。」</p>

	<p>「また、送迎職員が〇〇さんの気分を害すようなことがありましたら、その時も気兼ねなくおっしゃってください。」と伝えた。</p> <p>すると、「いいの！いいの！別にそんなつもりじゃないから」と言われていた。</p> <p>不満を伝えることで少し気持ちが落ち着いたものと思われた。</p>
再発防止策	<p>送迎職員は以前にも苦情を頂いており、今後も苦情を頂く可能性は残されている。ただ誰しも可能性は残されており、その頻度が多かったことは確かです。</p> <p>しかし、指導のうえ、改善が見られていないわけではなく、改善されている業務もあることから、現在注意深く見守っています。</p> <p>ただ、臨機応変に対応したり、その場での状況判断が必要な物事には対応が困難であるため、何かあった場合はすぐに電話連絡を頂くように伝えている。</p>

(3) ヒヤリハット・転倒事故

令和6年度下半期のヒヤリハット 全 0 件

令和6年度下半期の転倒(転落) 全 1 件



詳細

バランス訓練中に転倒。職員がその利用者の方なら「大丈夫」と介助量を遠位監視にて行っていたようです。

改善策として、

- ① 手摺の近くで実施すること
- ② 職員が近くで見守ること(介助量の見極めをしっかりと行うこと)としました。

管理者所感

当事業所は機能訓練に特化しており、運動という機能的、器質的負荷をかけることが特徴の事業所であります。筋力トレーニングにしても、バランストレーニングにしても機能の向上を図るためには、リスクをとって訓練を行う必要があります。

だからこそ、専門職としてしっかりとリスクも把握し、見極めながらサービスを提供

していくことが必要と考えています。もっと介助の質、訓練の質を高めていきます。

4. 研修その他従事者の資質向上のための取り組みの状況

(1) 採用時研修の充実

採用時研修をどの職種についても3時間程度行っています。

以下、介護職員に対する採用時研修プログラム例

介護職員採用時研修プログラム	
1. 動画視聴による介護業務に関わる知識の研修	
① 利用者とのコミュニケーションに必要な知識【ケアラル】	
	CM・介護スタッフに適した接遇マナー・コミュニケーション【第1回】基礎編
	Part(1)なぜ、接遇マナーが必要か(19分)
② 利用者が移動する際の介助～歩行介助編～【ケアラル】	
	すぐに車椅子にしない「歩行介助」
	Part(1)高齢者の歩行の特徴 日常の介助を見直そう(27分)
③ 認知症の利用者の理解【ケアラル】	
	【第1回】認知症の基本
	Part(1)そもそも認知症とは?(23分)
	※無資格者は認知症介護基礎研修 eラーニングシステムの受講
2. 全職員共通業務の確認と業務の実際	
(ア) 整頓・清掃	
(イ) 準備・片付け	
3. 業務の全体像～介護職員の業務内容の確認と業務の実際～	
(ア) 環境づくり	
(イ) 送迎業務	
(ウ) 移動・移乗介助業務	
(エ) 体調確認・バイタル測定	
(オ) 集団体操(準備体操と集団での下肢筋力トレーニング)	
(カ) 機能訓練の補助(見守り・準備セッティング)	
(キ) サービス提供状況の記録の記入	
4. スタッフ間コミュニケーションツールの設定	
(ア) LINE・チャットワークの設定と活用法	
(イ) チャットワーク	
(ウ) はぐくも	
5. 合同会社とれさぼの企業理念・ミッション・行動指針・会社価値基準の確認	
(ア) 合同会社とれさぼ創業の動機	
(イ) 合同会社とれさぼの地域(南足柄市内)の社会資源としての存在意義と役割	
6. 社内規程、キャリアパスの確認	
(ア) 福利厚生規程	
(イ) 研修規程	
(ウ) キャリアパス制度	

5. 第2回運営推進会議のご意見からの導入事例

(南足柄・北足柄・福沢地区地域地域包括支援センター)

とれさぼさんはすごく細かく評価をしてくれて報告をしてくれます。その評価を利用者やご家族にももっと知ってもらえると良いと思います。もっと体力測定の結果を有効利用していくと良いと思っています。



	日付	2023/9/27	2023/12/20	2024/3/13	2024/6/17	2024/9/11	握力得点表(65歳以上)				
	測定回	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目		男子	女子		
(全身握筋力)	右(kg)	20	21.8	17.1	18.4	19					
	左(kg)	16.4	17.3	12.4	17	17.3	10	49kg以上	32kg以上		
							9	45~48	29~31		
							8	42~44	27~28		
							7	39~41	25~26		
							6	36~38	22~24		
						5	32~35	20~21			
						4	29~31	17~19			
						3	25~28	14~16			
						2	22~24	12~13			
						1	21kg以下	11kg以下			
(下肢パワー)	日付	2023/9/27	2023/12/20	2024/3/13	2024/6/17	2024/9/11	男性	65歳~	70歳~	75歳~	80歳~
	測定回	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	優れている	26~	25~	22~	20~
	回/30秒	10	21	24	24	22	やや優れている	22~	21~	18~	17~
							普通	18~	16~	15~	14~
							やや劣っている	14~	12~	11~	10~
							劣っている	~13	~11	~10	~9
						女性	65歳~	70歳~	75歳~	80歳~	
						優れている	27~	24~	22~	20~	
						やや優れている	22~	20~	18~	17~	
						普通	17~	15~	13~	13~	
						やや劣っている	12~	10~	9~	9~	
						劣っている	~11	~9	~8	~8	
(静的片脚立位)	日付	2023/9/27	2023/12/20	2024/3/13	2024/6/17	2024/9/11	片脚立位得点表(65歳以上)				
	測定回	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目		男子	女子		
	秒(右)	15.76	23.43	24.56	55.4	22.38					
	秒(左)	38.83	46.08	35.11	58.7	65.84	10	120秒以上	120秒以上		
							9	73~119	67~119		
							8	46~72	40~66		
						7	31~45	26~39			
						6	21~30	18~25			
						5	15~20	12~17			
						4	10~14	8~11			
						3	7~9	5~7			
						2	5~6	4			
						1	4秒以下	3秒以下			
(複合動作能力)	日付	2023/9/27	2023/12/20	2024/3/13	2024/6/17	2024/9/11	男性	65歳~	70歳~	75歳~	80歳~
	測定回	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	優れている	≤4.53	≤4.51	≤5.10	≤5.22
	秒	15.42	8.34	7.96	7.18	8.74	やや優れている	4.54~	4.52~	5.11~	5.23~
							普通	5.03~	5.44~	5.69~	5.98~
							やや劣っている	5.87~	6.36~	6.71~	7.14~
							劣っている	≥6.81	≥7.28	≥7.91	≥9.01
						女性	65歳~	70歳~	75歳~	80歳~	
						優れている	≤4.91	≤4.88	≤5.41	≤5.12	
						やや優れている	4.92~	4.89~	5.42~	5.13~	
						普通	5.37~	5.81~	6.05~	5.99~	
						やや劣っている	6.04~	6.73~	7.09~	7.34~	
						劣っている	≥6.91	≥7.65	≥7.98	≥8.55	
(通常・5m歩行)	日付	2023/9/27	2023/12/20	2024/3/13	2024/6/17	2024/9/11	男性	年齢	歩行速度平均値		
	測定回	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目		65歳~	4.13		
	通常	8.3	6.02	5.21	4.28	5.68	70歳~	4.27			
	速歩	6.77	5.11	3.79	3.91	4.48	75歳~	4.63			
							80歳~	5.68			
							女性	65歳~	4.39		
						70歳~		5.26			
						75歳~		5.26			
						80歳~		5.75			

(全身筋力)	日付	2023/7/6	2023/10/19	2024/1/11	2024/4/11	2024/8/1	握力得点表(65歳以上)				
	測定回	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目		男子	女子		
	右(kg)	7	7.5	6.2	7	6.9	10	49kg以上	32kg以上		
	左(kg)	6.2	2.6	2.1	2.8	2.1	9	45~48	29~31		
							8	42~44	27~28		
(下肢パワー)	日付	2023/7/6	2023/10/19	2024/1/11	2024/4/11	2024/8/1	男性	65歳~	70歳~	75歳~	80歳~
	測定回	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	優れている	26~	25~	22~	20~
	回/30秒	11	0	12	12	13	やや優れている	22~	21~	18~	17~
							普通	18~	16~	15~	14~
							やや劣っている	14~	12~	11~	10~
(静的片脚立位)	日付	2023/7/6	2023/10/19	2024/1/11	2024/4/11	2024/8/1	劣っている	~13	~11	~10	~9
	測定回	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	女性	65歳~	70歳~	75歳~	80歳~
	秒(右)	2.67	1	1.18	1.32	3.62	優れている	27~	24~	22~	20~
	秒(左)	1.21	1	1.69	1.21	1.55	やや優れている	22~	20~	18~	17~
							普通	17~	15~	13~	13~
(複合動作能力)	日付	2023/7/6	2023/10/19	2024/1/11	2024/4/11	2024/8/1	やや劣っている	12~	10~	9~	9~
	測定回	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	劣っている	~11	~9	~8	~8
	秒	19.18	17.3	17.16	14.92	15.99	片脚立位得点表(65歳以上)				
								男子	女子		
							10	120秒以上	120秒以上		
(通常・速歩)	日付	2023/7/6	2023/10/19	2024/1/11	2024/4/11	2024/8/1	9	73~119	67~119		
	測定回	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	8	46~72	40~66		
	通常	13.88	17.5	8.09	10.48	9.12	7	31~45	26~39		
	速歩	9.17	8.3	7.91	7.37	7.7	6	21~30	18~25		
							5	15~20	12~17		

6. 意見交換(評価・助言・要望等)

7. ご意見

(高齢介護課より)

第2回の運営推進会議の際に送迎職員の運転技術について問題となっていましたが、その後、どうなりましたでしょうか？

(事業所管理者より)

運転技術が大きく向上したわけではありませんが、大きなワゴン車で行く頻度を減らし、軽自動車での送迎で行ってもらっています。

(ご利用者家族より)

苦情の件について、送迎という命を預かる業務で苦情が出るというのは…ましては運転技術でとなると、そのようなことは無くしていった方が良いと思います。

(事業所管理者)

第2回の運営推進会議の時にも送迎職員の苦情については話をさせて頂きましたが、その時にも話しましたが、そもそも運転技術に問題がある方は採用をしないということができれば、その方が良いと思います。ですので、面接の際に事前に運転技術をテストするなど適性を見極める必要もあると思っています。

(高齢介護課より)

実は、送迎職員の苦情に関しては別の事業所でも課題となっています。例えば、自動ブレーキシステムがついている車を使用するなど、安全に配慮した車を使用するという案もあります。

(事業所管理者)

当事業所で使用しているワゴン車はその安全ブレーキシステムがついている車で、ぶつかりそうになると自動でブレーキをかけてくれる車になります。

(事業所スタッフ)

たかが送迎ですが、されど送迎で、送迎業務が主のサービスではありませんが、送迎による苦情やご意見は沢山頂くことがあります。

(包括支援センター職員より)

私も、デイサービス職員時代は送迎業務は負担が大きく、嫌でした。特に乗り降りが大変な方は負担が大きかったように思います。

(ご利用者家族より)

車輛の乗り降りのしやすい車を使用してもらうことも要望としてあります。うちの母も乗り降りが大変になってきており、乗る際に掴まるところがある車だと助かります。

(事業所管理者)

実は、現在使用している軽自動車が5月で車検が切れ、車輛が新しくなります。その新しい車輛には掴まるところがある車輛になります。

また、送迎業務については、昨年より法改正があり、他の事業所と送迎職員を共有できることとなったと思います。今後、人材不足でそういった制度の変更なども活用していきながら、送迎業務の質の向上を考えていく必要があると思っています。

事業所より連絡事項

- ① 次回は期間中の新規利用者数、中止者数、中止者の理由なども資料に盛り込みます。
- ② 送迎業務についての詳細を修正致します。
- ③ 次回は事前に資料を郵送でお送りできればと思っています。